

大田区子ども情報らいぶらりー「地球の楽好」に関して

企画趣旨

未曾有の出来事となった昨年3月11日の震災から1年がたち、東京は一見、震災前の安心を取り戻したかのように見えます。しかし、大田区内に避難をしてきている方々の暮らしは当然、以前と同じとは言えない状態です。また、避難をしてきたわけではない区民も、連日起こる小さな地震やいつ来るか分からない大きな地震に、不安がなくなることはありません。

そんな中で問われているのは、まさに区が唱える「地域力」です。

今回の企画は、ちょうど大田区が東松島の方々の支援に手を挙げたように、長年区内で、子どもの健全育成を図るために読書推進活動を行っている読み聞かせボランティア交流会「ヒッポ」が、自らも被災者であり、そして支援者としても震災後直ちに支援活動を始めた特定非営利活動法人「地球の楽好（ちきゅうのがっこう）」の活動のひとつである「絵本プロジェクト」に支援を行ったことがきっかけとなっています。その関わりの中で、異なる地域の2つの団体が協働で、大切な子どもたちとその周りにいる親への支援とネットワーク作り、更には他地域で同じような年代の子どもを育てている家庭との連携を目的とした、横のつながりのある地域情報誌を創刊することとなりました。

何かが起こる前に地域で強い絆、すなわちセーフティーネットを作っておくこと、また、自分たちの地域が被災した際には大きな助けとなる、他地域コミュニティとの連携を大切にすることなどは、まさに今回の震災で大田区が率先して行ってきた活動であり、「地球の楽好」スタッフが大きく大切さを実感していることでもあります。ぜひ今回の情報誌の発行と配布を、そうした動きをより強化し、幅広い世代、なかなかNPO活動などに積極的に参加できない子育て世代にも広げていくきっかけ作りに、区全体で活用いただければと存じます。

特定非営利活動法人「地球の楽好（ちきゅうのがっこう）」とは

1985年、仙台市の母親たちが中心になり設立した「AMC（アクティブ・マザーズ・コーポレーション）」がその前身であり、同年、発行した「子連れママの気晴らしマップ」創刊号は、子連れで出かけられる施設や講座の紹介などを掲載した、日本初の地域密着型の子育て情報誌となりました。

2004年には、子どもたちを取り巻く社会を考えた際に、母親の視点だけではなく、男性（父親）の視点も必要と考え、スタッフの大幅改革を実施。同時に、子育て支援だけでなく、子どもたち自身に「自分の生きている場所を愛すること、日本文化を伝承すること」などを直接伝えることの大切さも認識し、子どもたちの健全育成を目的とするNPO法人「地球の楽好」を立ち上げました。

現在は、被災地の子どもたちに全国から集まった絵本を届ける「絵本バス」の事業のほか、国営公園での子ども向けワークショップ、小学校のPTA研修会のコーディネート、自治体の児童虐待防止などのイベントの企画運営、カラダの楽好と題したスポーツの指導、指導者に対する講演会（バスケットボール）等を行っています。

「地球の楽好」の活動は、全国各地に広がり、4月には一般社団法人地球の楽好を立ち上げ、東京以外にも札幌、神奈川、神戸、大阪、広島、東海、沖縄（設立準備中）で、同じ目的を持ったメンバーがそれぞれの地域で活躍しております。

地球の楽好 公式サイト <http://chikyunogakkou.org>

読み聞かせボランティア交流会「ヒッポ」とは

2007年設立。「ヒッポ」は、大田区の子どもの健全育成を目的に、「子どもの読書活動の推進に関する法律」ならびに、「子どもの読書活動に関する基本的な計画」に基づいて、家庭・地域・学校・行政と連携しながら、さまざまな学習活動・情報サービス活動・文化・福祉活動を行っています。

2009年～2012年は、大田区地域振興課のスタートアップ事業・ステップアップ事業に採択され、

- ①地域ボランティアの人材育成をはかる“イベント・能力開発事業”
- ②おすすめ本のリスト、アンケート調査資料の作成、提供を行う“調査研究事業”
- ③ボランティアの連携と組織化をはかる地域活性化交流・支援事業

などを実施しています。

ヒッポ 公式サイト http://book.geocities.jp/hipohipo_land/

大田区子ども情報らいぶらりー「地球の楽好」概要

- 製作スタッフ：読み聞かせボランティア交流会「ヒッポ」、特定非営利活動法人「地球の楽好（ちきゅうのがっこう）」東京スタッフ

- 仕様：B6/24 ページ
- 対象年齢：主に小学校1年生～3年生
- 発行時期：5月末予定
- 発行部数：15,000部
- 配布方法：各小学校へまとめて無料配布 初回配布は、1年生対象
- 内容：子どもたちに読んでほしいお勧めの児童書、子どもの健全育成活動を行っている市民団体、行政窓口や施設の情報、震災で非難されてきた方々への支援情報、子どもたちの心のケアにかかわるワークショップについて等。

ぽと 灯る 道るべ

